

# 15. 平成29年度大分県高等学校新人弓道競技大会実施要項

- 1 期 日 平成 29 年 10 月 7 日 (土) 9 : 20 ~ 開会式  
9 : 40 ~ 団体戦予選 (1 立目 4 矢)  
13 : 10 ~ 団体戦予選 (2 立目 1 手)  
14 : 30 ~ 個人戦予選・決勝  
17 : 30 ~ 終了式 (個人戦表彰式)  
10 月 8 日 (日) 9 : 00 ~ 開始式  
9 : 20 ~ 団体戦予選 (3 立目 4 矢)  
13 : 00 ~ 団体決勝トーナメント  
15 : 10 ~ 閉会式 (団体表彰式)
- (予備日 : 10 月 14 日・15 日)
- 2 会 場 大洲総合運動公園弓道場 (大分市青葉町) TEL 097-551-2110
- 3 競技規則 (公財) 全国高等学校体育連盟弓道競技規則及び (公財) 全日本弓道連盟競技規則による。
- 4 競技方法 (1) 種別は、①近的・立射 ②男女別 ③団体競技・個人競技 とする。  
(2) 団体競技について (予選)  
ア. 女子、男子の順に、4 矢 1 立・1 手 1 立・4 矢 1 立 (チーム 50 射) を行う。  
イ. 2 チーム同時に行射する。  
ウ. 上位 8 校を決勝トーナメント進出とする。  
エ. 団体の同中競射は、各自 1 本ずつの競射とする。競射の選手は予選 3 立目のメンバーとする。  
オ. 1 チームの行射制限は、4 矢は 6 分 30 秒以内、1 手は 4 分 30 秒以内とする。  
弦切れの場合、以後の射手は替弦を持たずに行射し、一巡したら正規の立順に戻る。  
(3) 団体競技について (決勝トーナメント)  
ア. 抽選により組み合わせを決定し、トーナメント方式で各自 4 射・チーム計 20 射を行う。  
イ. 抽選は、予選における的中数の 1 位～4 位チームをシードとし、残り 4 チームで抽選を行う。なお 1 位～4 位チームが複数の場合は抽選によりシードチームを決定する。  
抽選の順番については、プログラム記載順とする。  
ウ. 同中の場合は、各自 1 射ずつの競射を行い、勝敗を決定する。競射 1 本目は替矢を使用する。  
エ. 決勝戦の前に、1 手競射による三位決定戦を行う。  
(4) 個人戦について  
ア. 九州新人大会の予選を兼ねる。(10 人立ち)  
イ. 予選は、女子、男子の順に各自 4 射を行い、3 中以上を準決勝進出とする。  
ウ. 準決勝は、女子、男子の順に各自 4 射を行い、3 中以上を決勝進出とする。  
エ. 決勝は射詰競射で行う。優勝者が決まるまで射詰を行い、射詰競射 9 本目から 8 寸星的使用する。他の順位決定は遠近法により決定する。  
オ. 予選・準決勝・決勝とも順立ちとする。
- 5 参加資格 「平成 29 年度大分県高等学校新人大会実施要項」の参加資格に準ずる。
- 6 参加制限 (1) 団体競技  
ア. 1 校男女とも 1 チームとする。  
イ. チーム編成は、監督 1 名・選手 3 名～5 名、補欠 2 名の計 4～8 名とする。  
選手 3 名以上を団体扱いとする。  
ウ. 選手の交代については、登録された補欠との交代のみを認め交代した選手は、以後補欠とみなす。1 回の交代で、補欠 2 名同時に交代できる。  
以下のように団体戦の交代回数を定める。  
I 一日目…監督会議前または試合中に 1 回  
II 二日目…監督会議前に 1 回  
III 決勝トーナメント…試合毎にリセットする。ただし、立順の入れ替わりはできない。
- (2) 個人戦  
個人戦出場資格は、支部予選において男子 10 射 6 中、女子 10 射 5 中以上の中した者。

- 7 参加申込 (1) 期限 平成 29 年 9 月 29 日 (金) 必着  
 (2) 方法 申込用紙は高体連ホームページから入手し、下記により期限内に行う。  
 ア. 様式により作成し、1部印刷・捺印して下記に郵送する。  
 イ. 校長の承認を得た申込電子データは、メールで送信する。(ファイル名：競技名/校名/監督名)  
 (3) 宛先 〒870-0133 大分市大字葛木509 鶴崎工業高校内  
 弓道申込先責任者 麻生 勲 あて  
 メールアドレス [asou-isao@oen.ed.jp](mailto:asou-isao@oen.ed.jp) <データ受付期間：9月29日 12:00必着 >
- 8 参加負担金 選手(補欠を含むエントリー)1人につき 加盟校600円・非加盟校1000円。大会当日の受付で納入する。
- 9 出場権の獲得 男女とも団体戦1～4位の高校及び個人戦1～3位の者に、九州新人大会の出場資格を与える。
- 10 諸会議 (1) 第二回専門委員会 平成 29 年 10 月 3 日 (火) 10 時～ 大分商業高等学校  
 ※立順は、専門委員会において抽選基準に基づいて厳正に抽選する。  
 (2) 監督会議 10 月 7 日 8:30～ 8 日 8:30～
- 11 連絡事項 (1) 服装は、弓道着又はユニフォーム(肩線のない白シャツ、校服のズボン・スカート・白靴下)とする。  
 (2) 鉢巻きを使用する場合は、無地とし、肩にかからない長さとする。  
 (3) 弓具・服装の点検を行い、違反選手には行射させない。  
 (4) 頭髪にリボンを着用することは禁止する。  
 (5) ゼッケンは、右腰前に付けること。なお、サイズは全国大会の形にできるだけ合わせること。  
 布地は白。県名と学校名の文字は黒、  
 番号は男子が黒文字、女子は赤文字で記入。  
 (6) 呼び出しに絶えず気を配ること。  
 点検に遅れる等して、第一控「起立」の号に間に合わなかった者は失格である。  
 (7) 選手は大会競技規則を熟知し、違反のないように競技に臨むこと。  
 ア. 甲矢を射る時、乙矢を取り矢すること。  
 イ. 矢番え動作後、筈から弦が離れた場合「筈こぼれ」となり、その矢は失格である。  
 ウ. 監督は道場内の選手に、発声又は動作で合図やアドバイスをしてはならない。選手も同様である。  
 (8) 事故防止に最善を尽くさなくてはならない。そのため指示された危険区域(矢取り道・看的所横・巻き葉練習場)には立ち入らない。応援者も競技運営に整然とした態度で臨む等、協力して欲しい。  
 (9) 選手宣誓は、前年度女子優勝校の別府鶴見丘高校とする。  
 (10) 各支部長は、支部予選大会後直ちに、大会結果報告書を専門委員長に提出すること。  
 (11) 競技開始前の的前練習はできない。  
 (12) 台風等の荒天の場合は、予備日に変更する可能性がある。

